

◆推進項目2「事務事業の委託化・廃止と合わせた行政職員数の削減」

NO	取り組み事項	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	工程の進捗度	説明
1	定員適正化計画及び 行革方針に基づく行政 職員数の削減  (担当課:企画調整課)	計画	新規採用の抑制による削減 減△1人 H22. 4月 828人 H23. 4月 827人	新規採用の抑制による削減 減△9人 H23. 4月 827人 H24. 4月 818人	新規採用の抑制による削減 減△9人 H24. 4月 818人 H25. 4月 809人	計画を上回る  ↑	定員適正化計画を上 回る実績を示している ことから、「計画を上回 る」と評価。
		実績	新規採用の抑制による削減 減△8人 H22. 4月 828人 H23. 4月 820人	新規採用の抑制による削減 減△12人 H23. 4月 820人 H24. 4月 808人	【変更計画】 現行の削減計画の見直し 現行(H22~H31で減△36人)に 上乘せが必要		
		評価	(1)これまでの評価 ・退職者が予定より増加したが、採用人数を抑制したことにより計画を上回る実績となった。 ・一方で、非常勤職員数は、H22. 4月 283人→H23. 4月 297人、H23. 4月 297人→H24. 4月 300人となっている。 産休職員代替の増等の理由があるが、そのための増員をする一方で他方を減員しなければ物件費の削減は難しい。  (2)今後の取り組み ・H28までに17億円の削減を達成するために、次のことをH24計画に反映させるとともに、第2次改革プランに引き継ぐ。 ⇒正規職員の削減 新たな削減計画を盛り込んだ定員削減計画の策定とその目標達成のための民営化等計画の策定。 ⇒非常勤職員の削減 H24~H28の削減計画を策定。(民営化等計画と連動させて削減)				

◆参考① 正規職員の推移等(金額は、普通+特別+水道会計)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
正規職員	924	900	881	854	841	828	820	808
前年度増減		△ 24	△ 19	△ 27	△ 13	△ 13	△ 8	△ 12
削減累計		△ 24	△ 43	△ 70	△ 83	△ 96	△ 104	△ 116
人件費	5,569,060	5,382,772	5,291,465	5,169,581	5,039,045	4,831,760	4,841,546	4,803,019
前年度増減		△ 186,288	△ 91,307	△ 121,884	△ 130,536	△ 207,285		
削減累計		△ 186,288	△ 277,595	△ 399,479	△ 530,015	△ 737,300		

※人件費は、H17~H22は決算額。H23は最終補正後予算額。H24は当初予算額。

◆修正箇所

- ・H21人件費 (誤)5,138,044千円 →(正)5,039,045千円
- ・H21前年度増減 (誤) △31,537千円 →(正) △130,536千円
- ・H22前年度増減 (誤) △306,284千円 →(正) △207,285千円
- ・H21削減累計 (誤) △431,016千円 →(正) △530,015千円

減△207,285千円の主な要因

- ①給料の減 減△78,210千円
- ②期末勤勉手当の減 減△52,814千円
- ③時間外手当の減 減△64,793千円
- ④管理職手当の減 減△ 9,914千円

	H22	H23	H24
前年度増減	283	297	300
削減累計	△ 2	14	3
削減累計	△ 25	△ 11	△ 8
前年度増減	696,709	749,623	781,200
削減累計			

前年度増減

主な理由は産休代替であるが、

止税下非常勤一人件費があるため、削減のための競争先探しが進んでいないと判断される。

◆参考③

人口千人当たりの「一般行政+教育+消防」職員数の推移

